

# 横浜港港湾計画書

— 一部変更 —

令和 3 年 3 月

横浜港港湾管理者

横 浜 市

本計画書は、港湾法第三条の三の規定に基づき

- ・平成26年 9月 横浜市港湾審議会
- ・平成26年 11月 交通政策審議会第58回港湾分科会

の議を経、その後の変更については

- ・平成27年 6月 横浜市港湾審議会
- ・平成27年 12月 横浜市港湾審議会
- ・平成28年 2月 交通政策審議会第62回港湾分科会
- ・平成28年 7月 横浜市港湾審議会
- ・平成28年 11月 横浜市港湾審議会
- ・平成29年 11月 横浜市港湾審議会
- ・平成30年 12月 横浜市港湾審議会
- ・平成31年 3月 交通政策審議会第74回港湾分科会
- ・令和元年 12月 横浜市港湾審議会

の議を経た横浜港の港湾計画の一部を変更するものである。



## 目 次

|               |   |
|---------------|---|
| 変更理由          | 1 |
| 港湾施設の規模及び配置   | 2 |
| 1 臨港交通施設計画    | 2 |
| 土地造成及び土地利用計画  | 3 |
| 1 土地利用計画      | 3 |
| その他重要事項       | 4 |
| 1 大規模地震対策施設計画 | 4 |

## 変更理由

- 1) 山下ふ頭の再開発に対応するため、山下ふ頭地区において、臨港交通施設計画及び土地利用計画、大規模地震対策施設計画を変更する。

## 港湾施設の規模及び配置

### 1 臨港交通施設計画

港湾における交通の円滑化を図るとともに、港湾の各施設を結ぶため、臨港交通施設を次のとおり計画する。

#### 1-1 道路

臨港道路山下線

[新規計画]

起点 山下町第39号線

終点 山下ふ頭埠頭用地 4車線

# 土地造成及び土地利用計画

山下ふ頭地区において、港湾施設の計画に対応するとともに、多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間の形成を図るため、土地造成計画及び土地利用計画を次のとおり変更する。

## 1 土地利用計画

単位：h a

| 用途<br>地区名 | 埠頭<br>用地 | 港湾<br>関連<br>用地 | 工業<br>用地 | 都市<br>機能<br>用地 | 交通<br>機能<br>用地 | 緑地              | 交流<br>厚生<br>用地 | 海面<br>処分<br>用地 | 合計               |
|-----------|----------|----------------|----------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|------------------|
| 山下ふ頭      | 1        |                |          | 41             | (5)<br>5       | (1)<br>1<br>[1] |                |                | (6)<br>47<br>[1] |

注1) ( ) は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

また、[ ]は2階レベルの土地利用計画で外数である。

注2) 端数整理のため、内数の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

### 既定計画

単位：h a

| 用途<br>地区名 | 埠頭<br>用地 | 港湾<br>関連<br>用地 | 工業<br>用地 | 都市<br>機能<br>用地 | 交通<br>機能<br>用地 | 緑地              | 交流<br>厚生<br>用地 | 海面<br>処分<br>用地 | 合計               |
|-----------|----------|----------------|----------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|------------------|
| 山下ふ頭      | 1        |                |          | 42             | (4)<br>4       | (1)<br>1<br>[1] |                |                | (5)<br>47<br>[1] |

注1) ( ) は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

また、[ ]は2階レベルの土地利用計画で外数である。

注2) 端数整理のため、内数の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

## その他重要事項

### 1 大規模地震対策施設計画

#### 1-1 緊急物資輸送の拠点として機能するために必要な施設

既設の施設のうち、以下の施設について、大規模地震が発生した場合に物資の緊急輸送、住民の避難等に供するため、大規模地震対策施設として計画する。

#### 山下ふ頭地区

水深 12 m 岸壁 1 バース 延長 200 m [新規計画] YS2

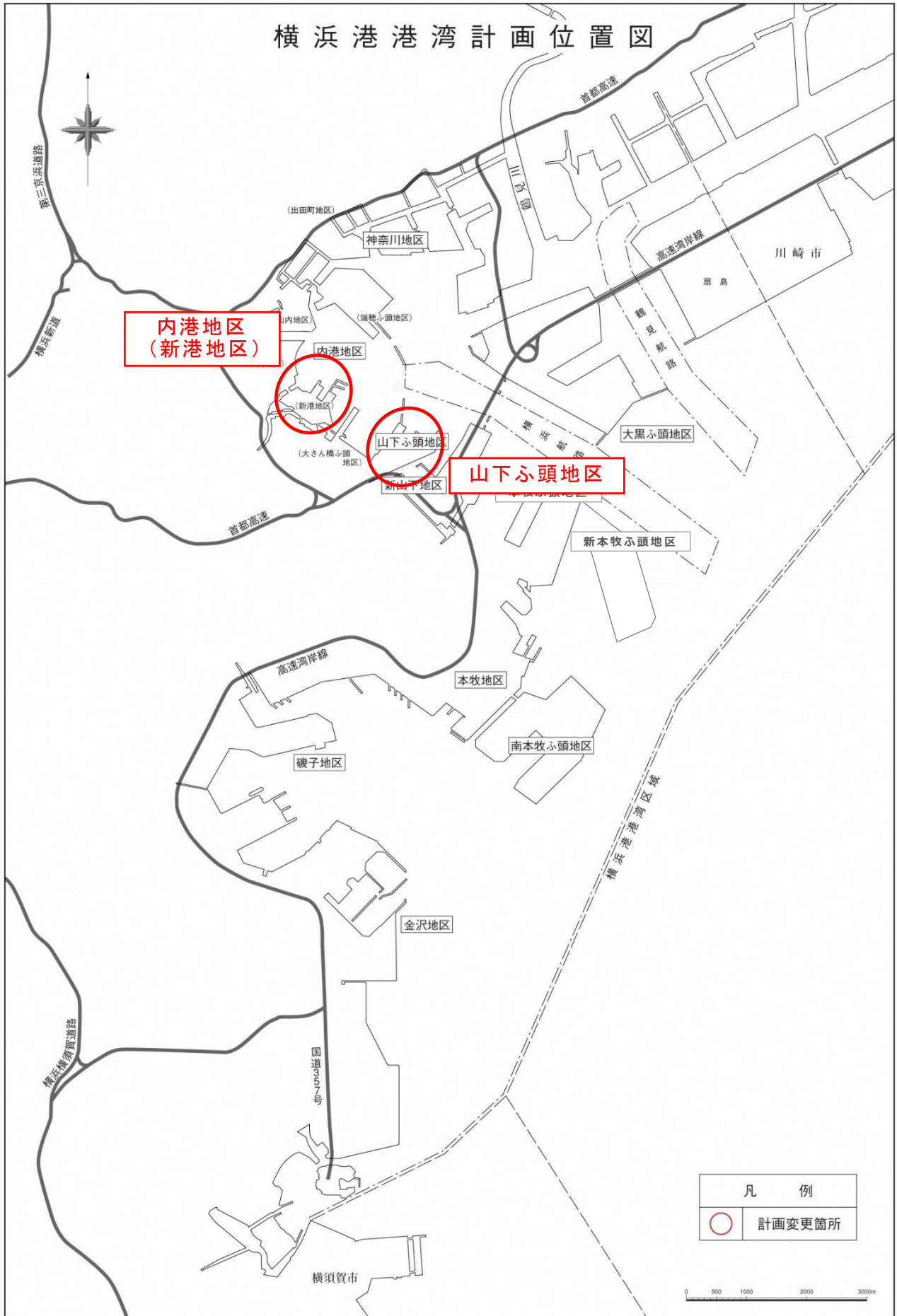
なお、これに伴い、港内の施設配置を見直し、次の大規模地震対策施設計画を削除する。

#### 内港地区（新港地区）

水深 7.5 m 岸壁 1 バース 延長 140 m [既定計画] SK8



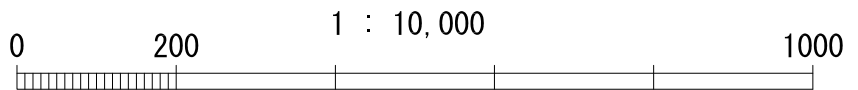
# 横浜港港湾計画位置図



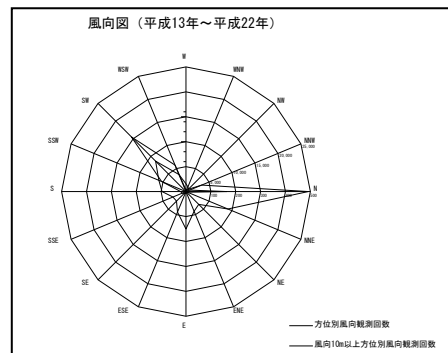
# 横浜港港湾計画図 〔山下ふ頭地区〕



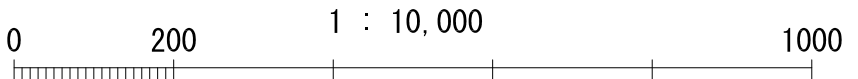
(大さん橋ふ頭地区)



| 凡 例 |                  |        |
|-----|------------------|--------|
|     | 防波堤              | (既 設)  |
|     | 公共岸壁             | (既定計画) |
|     | 公共岸壁 (緊急物資輸送用)   | (今回計画) |
|     | 埠頭用地             | (既定計画) |
|     | 緑 地              | (既定計画) |
|     | 交通機能用地           | (既定計画) |
|     | (臨港道路)           | (今回計画) |
|     | その他用地            | (既定計画) |
|     | 自然的環境を整備又は保全する区域 |        |
|     | レクリエーション等活性化水域   |        |



# 横浜港港湾計画図 〔内港地区（新港地区）〕



| 凡 例 |                     |
|-----|---------------------|
|     | 公共岸壁 (既 設)          |
|     | 公共岸壁(緊急物資輸送用) (既 設) |
|     | 物資補給岸壁 (既 設)        |
|     | 専用岸壁 (既 設)          |
|     | 小型さん橋 (既 設)         |
|     | (既定計画)              |
|     | 埠頭用地 (既 設)          |
|     | (既 設)               |
|     | 緑 地 (既定計画)          |
|     | 交通機能用地 (既 設)        |
|     | (臨港道路) (既定計画)       |
|     | その他用地 (既 設)         |
|     | 自然的環境を整備又は保全する区域    |
|     | レクリエーション等活性化水域      |
|     | 良好な景観を形成する区域        |
|     | 外航旅客の良好な受入環境を形成する区域 |

